第４回　全校研究会
「多様な児童生徒に自分らしい社会貢献を実現する授業」
～学習評価をとおして多様な児童生徒の幸せに生きる力を育む～

12 月 21 日(水)に第４回全校研究会を行いました。今回も各学部代表クラスの授業実践を事前視聴という形で YouTube の限定公開にて教職員で共有しました。当日の前半は、京都府教育庁指導部特別支援教育課、水島豊指導主事より実践の講評を含めたお話をしていただきました。また、指導と評価の一体化を図るためのポイント、学習評価を行うにあたって、基本構造である育成すべき資質・能力の三つの柱、「自らの学習を調整しようとする側面」、評価計画を立てることの重要性について御講義いただきました。

後半は、学部を超えた少人数のグループで、児童生徒の学習集団を設定して生活単元学習の単元計画をたて、３観点の「主体的に学習に取り組む態度」について深められるように話し合いを行いました。各グループとも活発で積極的な討議ができ、グループワークの内容について、代表グループには発表をしてもらいました。また、水島指導主事には、グループワークの講評をいただきました。

今回の学びを活かして 3 学期の授業実践につなげていきたい等の感想も多数ありました。

【全校研究会の感想】

小・中・高それぞれの発達でねらう目標や評価規準に触れられておもしろかったです。
今後の授業構想等で活かしたい視点でした。

自立活動の観点・取組について、特に重度クラスで教科の視点について具体的な交流をしてみたいです。